

台風第 19 号における災害対応検証について (最終報告書)

令和 2 年 8 月

いわき市台風第 19 号における
災害対応検証委員会

目 次

はじめに	P 1
------	-----

第 1 章 検証の概要

1 目的	P 2
2 検証対象	P 2
3 委員	P 2
4 検証経過	P 3
5 被災者アンケート	P 4

第 2 章 台風第 19 号災害の概要

1 気象概況	P 5
2 気象警報	P 5
3 地区別総雨量	P 6
4 河川の水位観測所（市内全 17 箇所）の観測値	P 6
5 避難情報発令件数	P 6
6 避難所開設及び避難者の状況	P 7
7 被害状況	P 7

第 3 章 災害対応の検証

1 情報伝達のあり方について	P13
2 避難所開設・運営のあり方について	P22
3 避難行動のあり方について	P32
4 災害対策本部の対応について	P42
5 自助・共助・公助の役割について	P50
6 検証項目に関連した主な意見について	P58

第 4 章 資料

【資料 1】被災者アンケート	P59
【資料 2】市の生活支援等の対応状況	P76
【資料 3】市総合防災訓練の実施結果	P77
【資料 4】いわき市台風第 19 号における災害対応検証委員会設置要綱	P78

はじめに

令和元年 10 月 12 日から 13 日にかけて本市を直撃した、大型で非常に強い勢力であった台風第 19 号（令和元年東日本台風）により、本市では初めてとなる大雨特別警報が発表され、特に三和地区においては、2 日間の総雨量が 448 mm になるなど、暴風を伴う記録的な大雨となった。

この豪雨により、夏井川などの河川の決壊等が発生し、多くの尊い命が失われるとともに、平の平窪地区、赤井地区をはじめ、小川地区、好間地区など、広範囲にわたって床上浸水や土砂災害等に伴う住家被害が多数発生したほか、基幹浄水場である平浄水場の被災に伴う断水により、多くの市民の暮らしや企業活動等にも支障をきたし、市内各所において甚大な被害が生じた。

いわき市台風第 19 号における災害対応検証委員会では、市地域防災計画等に基づく、市が行った発災直前から発災後の初動対応期における災害対応が十分に機能したかについて課題等を明らかにし、今後の防災対策に反映させるため、計 6 回の会議を開催し、さまざまな視点から検証を行った。特に、今般の新型コロナウイルス感染症によって、複合災害の発生する危険性が高まっている状況を鑑み、会議においても、「新しい日常」における災害対応や「多様な避難」のための取り組みについても協議を行った。

今回、これまでの会議結果や被災者アンケートの結果を踏まえ、最終報告書を取りまとめたところであり、いわき市においては、この報告書に基づき、早急に取り組むべきものを整理し、対策を講じることを求めるとともに、今後も想定される大規模災害に備え、関係機関・団体等と連携のもと、具体的な防災対策・減災対策の構築を進めるべきであると考えている。

また、防災、減災につなげるためには、住民 1 人ひとりの自助の取り組み、自主防災組織等による共助の取り組みが今後さらに重要となることから、市はこれらの取り組みを一層推進しながら、自助・共助・公助が一体となって、地域全体の防災力が向上することを切に願うものである。

令和 2 年 8 月

いわき市台風第 19 号における災害対応検証委員会
委員長 福迫 昌之

第1章 検証の概要

1 目的

令和元年台風第19号に係る災害により本市が甚大な被害を受けるとともに、多くの尊い命が失われたことを重く受け止め、地域防災計画や業務継続計画等に基づく本市の災害対応が十分に機能したか把握するとともに、課題等を明らかにし、その結果を今後の防災対策に反映させることを目的とする。

2 検証対象

市が行った発災直前から発災後の初動対応期（発災～72時間）における災害対応

3 委員（市内大学や関係機関、地域の団体等から構成）

氏 名	所 属	役 職
福迫 昌之 【委員長】	東日本国際大学	副学長、 経済経営学部長
杉安 和也 【副委員長】	東北大学災害科学国際研究所	助教
金成 克哉 【副委員長】	いわき市行政嘱託員(区長)連合協議会	会長
鎌田真理子	医療創生大学	教授
丹野 淳	福島工業高等専門学校	助教
鹿野 義明	福島地方気象台	防災管理官
篠原 清美	いわき市民生児童委員協議会	会長
佐藤 将文	下平窪自主防災会	会長

4 検証経過

委員会	月 日	内 容
第1回	令和元年12月24日	・ 台風第19号に伴う市の対応 ・ 検証内容及び日程
第2回	令和2年2月12日	・ 情報伝達のあり方
	令和2年2月28日	・ 被災者アンケート実施
第3回	令和2年4月30日	・ 避難所開設のあり方 ・ 避難のあり方 ・ 要支援者への支援
	令和2年5月29日	・ 「中間取りまとめ」を市に提出
第4回	令和2年6月19日	・ 災害対策本部における対応 ・ 被災者アンケート結果
第5回	令和2年7月10日	・ 自助、共助、公助の役割 ・ 河川の水位情報、避難所でのペット対応
第6回	令和2年8月18日	・ 最終報告（案）



5 被災者アンケート

＜調査目的＞

台風第19号が上陸した令和元年10月12日(土)～13日(日)に、被災者が被災情報をどのように入手し、それに基づき、どのような行動をとったのか、また、日頃、地域の危険性等についてどのように認識されていたのかなどを調査し、今後の迅速で的確な避難行動に役立てていくことを目的に、福島県と合同で実施した。(アンケート結果はP59～P75)

＜調査概要＞

- ・ 調査対象
5,355件(いわき市において、り災証明書を発行したすべての住家世帯)
- ・ 調査期間
令和2年2月28日～3月23日
- ・ 回収数
2,724件(回収率50.9%)

【参考】

福島県のアンケート調査概要

- ・ 調査対象
福島県(10市、3町)において、台風第19号及び10月25日の豪雨で被害を受けた世帯主(13,225件)
- ・ 調査期間
令和2年2月28日～3月23日
- ・ 回収数
7,123件(回収率53.9%)

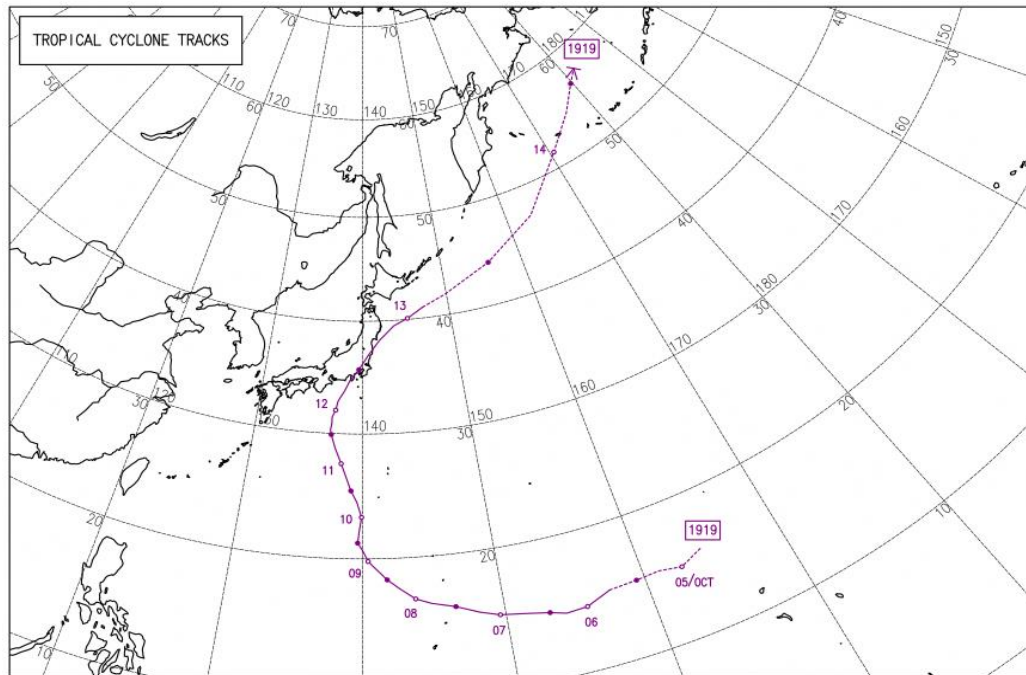
第2章 台風第19号災害の概要

1 気象概況

台風第19号は、10月12日19時までに大型で強い勢力で伊豆半島に上陸し、勢力を維持したまま、関東地方を北東に進み、13日未明には福島県を通過して、明け方には宮城県沖へ進んだ。その後、三陸沖を北東に進み、13日12時に北海道の南東海上で温帯低気圧に変わった。

本市では、10月11日から前線の影響で雨が降り出し、12日には台風の接近により昼前から激しい雨が降り、特に台風の接近・通過に伴い、12日夜遅くにかけては非常に激しい雨となり、本市では初めてとなる大雨特別警報が発表され、特に三和地区においては、2日間の雨量が448mmを記録するなど、局地的に暴風を伴う猛烈な雨となった。

＜台風経路図＞（気象庁ホームページ）



2 気象警報

月日	時刻	警 報	月日	時刻	警 報
10/12	8:19	暴風警報、波浪警報	10/13	4:00	大雨特別警報解除
	14:09	大雨警報			高潮警報解除
	15:16	洪水警報		8:08	暴風警報解除
	15:30	土砂災害警戒情報		14:20	土砂災害警戒情報解除
	18:10	高潮警報		14:57	大雨警報解除
	19:50	大雨特別警報		22:16	波浪警報解除
			10/14	14:05	洪水警報解除

3 地区別総雨量（10月12日午前0時～10月13日午前9時）

平	206.0mm	四倉	183.5mm	三和	448.5mm
小名浜	176.0mm	遠野	296.5mm	田人	298.0mm
勿来	180.0mm	小川	241.0mm	川前	242.5mm
常磐	243.5mm	好間	162.0mm	久之浜・大久	188.5mm
内郷	270.0mm				

4 河川の水位観測所（市内全17箇所）の観測値

河川名	水位観測所の位置	氾濫危険水位	ピーク時水位
大久川	大久町大久字滝尻	2.30m	2.70m
仁井田川	平下神谷字亀下	6.00m	5.81m
	四倉町細谷字堀込	4.90m	5.11m
	四倉町戸田字北高柳	3.54m	3.59m
夏井川	小川町上小川字彦太郎	3.75m	5.02m
	平字鎌田	7.00m	7.42m
	平中神谷字前河原	7.40m	7.66m
好間川	好間町上好間字大堰	3.43m	3.57m
新川	内郷白水町蛭内	3.20m	3.12m
	平字梅本	5.39m	6.01m
滑津川	平上高久字五反田	3.50m	2.41m
矢田川	小名浜林城字塚前	5.00m	4.01m
藤原川	常磐西郷町落合	3.86m	3.51m
	小名浜南富岡字中前	3.74m	2.71m
釜戸川	渡辺町田部字六反田	5.10m	4.25m
鮫川	仁井田町松原	5.34m	6.59m
蛭田川	勿来町窪田十条	3.16m	2.69m

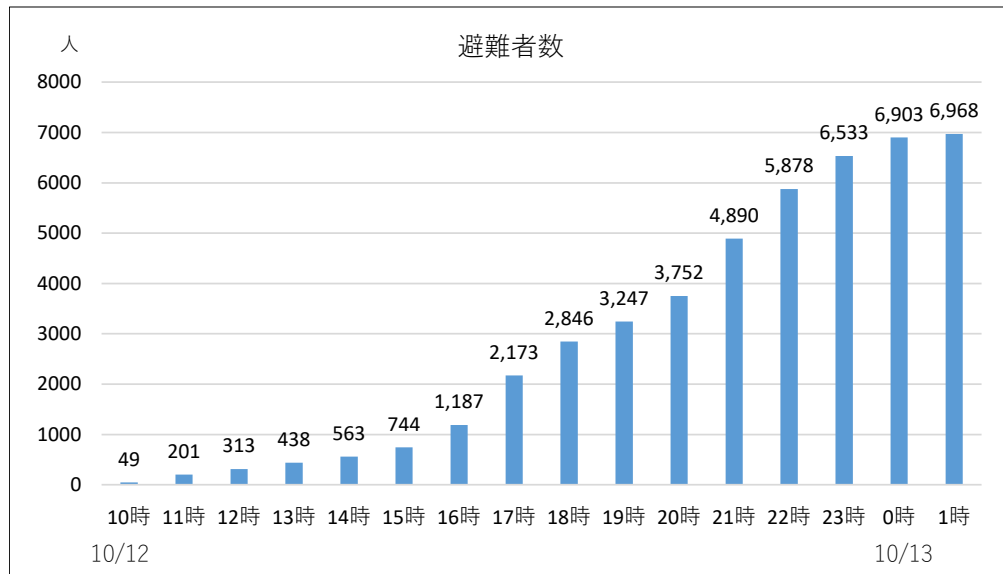
※ 河川が氾濫した箇所の水位については不明

5 避難情報発令件数

発令区分		件数	備考
避難準備・高齢者等避難開始		1件	河川・土砂災害共通
避難勧告	河川災害	3件	新川、好間川、矢田川、仁井田川、大久川、藤原川
	土砂災害	1件	市内全域
避難指示	河川災害	15件	新川、好間川、大久川、鮫川、宮川、夏井川、仁井田川、藤原川、蛭田川、釜戸川
	土砂災害	1件	市内全域
	ポンプ場	3件	林城ポンプ場、島ポンプ場
災害発生情報（河川のみ）		4件	新川、夏井川

6 避難所開設及び避難者の状況

避難所は60箇所開設し、最大で3,018世帯、6,968人（13日1時時点）が避難した。



7 被害状況（令和2年6月1日現在）

(1) 人的被害

死者	直接死8人、関連死4人、多発性外傷1人
負傷者	31人

(2) 住家被害

全壊	128棟（145世帯）
大規模半壊	854棟（1,000世帯）
半壊	3,268棟（4,228世帯）
一部損壊（準半壊）	244棟（344世帯）
一部損壊（10%未満）	1,433棟（1,619世帯）
り災世帯数合計	7,336世帯

(3) 非住家被害

全壊	101棟
大規模半壊	467棟
半壊	1689棟
一部損壊（準半壊）	173棟
一部損壊（10%未満）	681棟

(4) 公共施設被害

道路・橋りょう	835箇所	林業関係施設	1箇所
河川	266箇所	商工観光施設	4箇所
公園施設	11箇所	水道施設	6箇所
下水道施設	33箇所	文教施設	16箇所
農業土木施設	725箇所	その他（市営住宅等）	128箇所
林道施設等	381箇所		

(5) 被害額

① 公共施設

道路・橋りょう	2,336,040 千円
河川	734,100 千円
公園施設	72,600 千円
下水道施設	1,176,000 千円
農業土木施設	3,714,271 千円
林道施設等	660,750 千円
林業関係施設	19,000 千円
商工観光施設	26,420 千円
水道施設	1,965,289 千円
文教施設	85,764 千円
その他（市営住宅等）	2,944,614 千円
合 計	13,734,848 千円

② その他

がけ崩れ被害	1,737,500 千円
農地被害	1,202,012 千円
農林業施設被害	84,342 千円
農作物被害	379,606 千円
商工観光施設被害	20,048,730 千円
水産業施設被害	1,752 千円
その他（児童福祉施設等）	2,073,881 千円
合 計	25,527,823 千円

(6) 河川氾濫

決壊箇所（夏井川、好間川、鮫川）	10箇所
越水箇所（夏井川、新川、宮川、鮫川）	7 箇所

(7) 浸水面積

夏井川水系（夏井川、好間川、新川）	約1,210ha
鮫川水系（鮫川）	約 65ha
合 計	約1,275ha

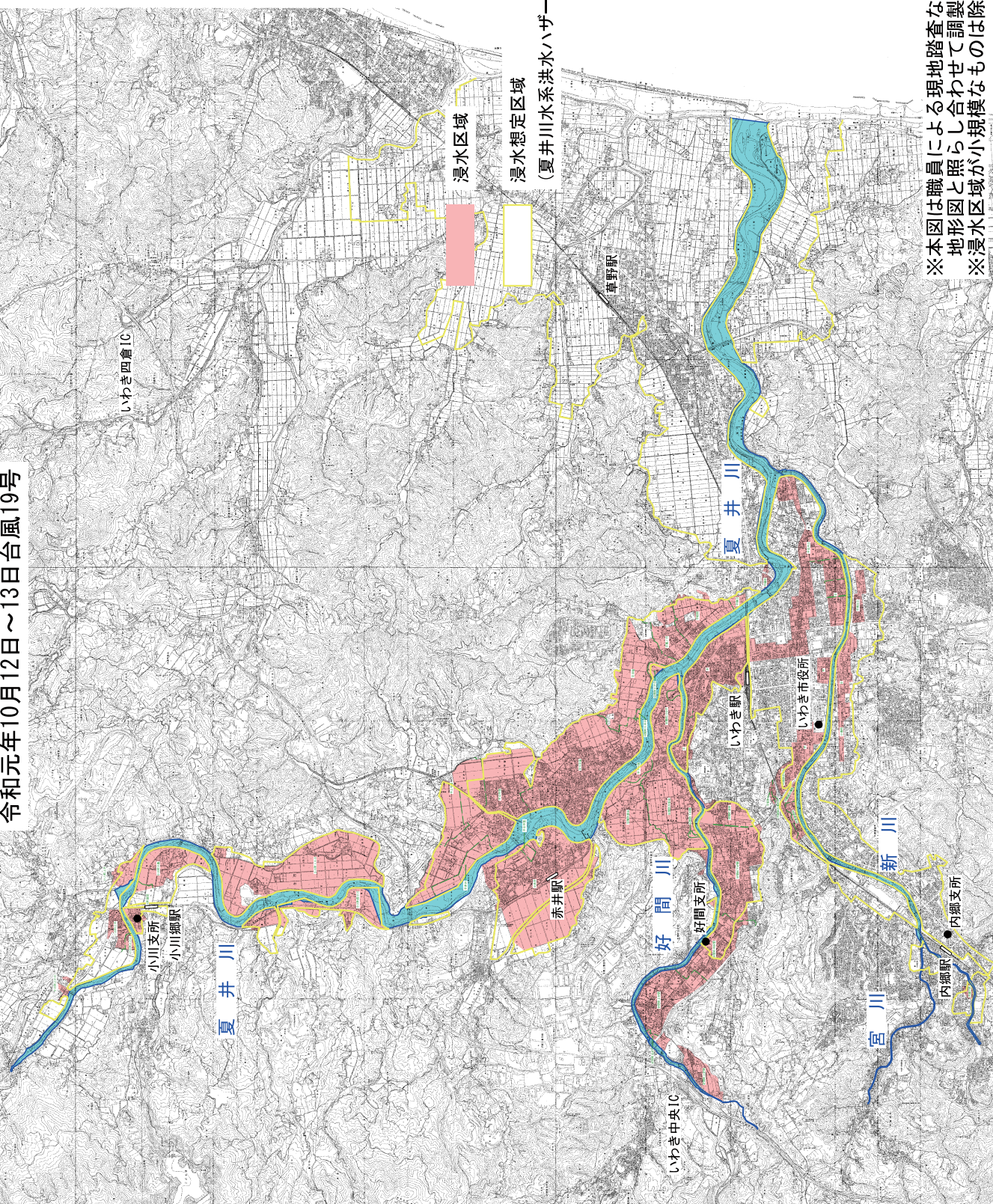
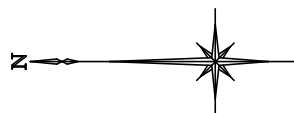
※ 浸水区域は、P9～P10 を参照

(8) 断水

平浄水場が浸水被害を受け、運転停止となったことから、平地区、四倉地区、小川地区、久之浜・大久地区の約 45,400 戸が断水となった。

いわき市浸水区域図(その1)暫定

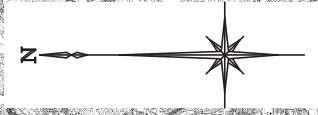
令和元年10月12日～13日台風19号



※本図は職員による現地踏査などをもとに
地形図と照らし合わせて調製したものです。
※浸水区域が小規模なものは除きます。

いわき市浸水区域図(その2)暫定

令和元年10月12日～13日台風第19号



いわき湯本IC

遠野支所

川鮫

浸水区域

浸水想定区域
(鮫川水系洪水ハザードマップより)

川田上

余木田川



鯊

いわき勿来IC

$$S=1:50000$$

勿来支所

※本図は、職員による現地踏査などをもとに地形図と照らし合わせて調製したものです。
※浸水区域が小規模なものは除きます。

※浸水区域が小規模なものは除かれます。

鮫

①

田人町見泊字藤平

【被害の状況】

夏井川の氾濫による浸水被害（10月13日 平窪地区）



救助の様子（10月13日 平窪地区）



被災した小川支所（10月15日 小川地区）



集積された災害廃棄物の状況（10月16日 好間地区）



崩落した市道の状況（10月15日 田人地区）



第 3 章 災害対応の検証

1 情報伝達のあり方について

検証項目

- ア 伝達内容
- イ 伝達手段

対応状況

ア 伝達内容

水防計画書及び地域防災計画に基づき、避難等の伝達内容を作成したが、緊急速報メール（エリアメール）については、文字数制限（200 字）があるため、字名などの詳しい掲載ができず、水位観測所がある場所を「流域」単位で表現していた。防災メールについても、一部を除き、エリアメールと同様の内容で配信したことから、住民からは、「具体的な地域名を掲載してほしい」、「河川の水位状況について情報発信してほしい」などの声があった。

また、アンケート調査の中で、避難しなかった住民に対し、「どのようなきっかけがあれば避難したか」と質問したところ、「もっと危機感のある避難情報の提供」が 51.8%となっている。

イ 伝達手段

東日本大震災の教訓から、防災情報等を迅速かつ的確に市民へ周知するため、緊急速報メール（エリアメール）をはじめ、登録制の市防災メール、フェイスブックやツイッター等の SNS を活用した防災情報の発信、テレビや FM いわき等の放送による情報発信、さらには、消防団等の広報車両を活用した避難情報の伝達など、多種多様な手段を活用した情報伝達の多重化を図ったが、伝達の内容が「分かりにくい」、「聞こえなかった」との声があった。

なお、台風第 19 号の際は、次のような手段を活用して情報伝達を行った。

- ・緊急速報メールの送信
- ・いわき市防災メールの送信
- ・災害情報共有システム（Lアラート）による TV の文字放送
- ・市ホームページへの掲載
- ・SNS（フェイスブック、ツイッター）による広報
- ・いわき市民コミュニティ放送（FMいわき）による防災メール内容の即時放送
- ・消防署、消防団による広報活動
- ・自主防災組織（地区・自治会）の会長への防災メールによる情報伝達

【課題及び課題解決の方向性】

項目	課 題	課題解決の方向性
ア 伝 達 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の災害では、市はきめ細かく情報発信したが、内容がわかりにくく、高齢者等の情報弱者目線ではなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ エリアメールについては、地域名を加えた形で、文章形式から箇条書きにするなど、わかりやすい表現に改善する。(実施済)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観測対象河川を複数有し、広域合併自治体であることから、複数の地区の警報がエリアメール等で何通も届き、最新の避難情報・個々の市民が必要とする自宅周辺の情報が把握しづらかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ どの情報が最新情報か、居住地区の情報がどれか、把握しやすいよう、別途、情報のまとめページを設ける等の工夫が必要である。 ▶ 河川の水位状況に関する情報として、河川水位情報サイトや河川水位に対する避難情報と市民がとるべき避難のタイミングの目安を河川洪水ハザードマップへ掲載し、さらに、きめ細かい河川の水位情報を得るための福島県河川流域総合情報システムのメール配信サービスへの登録促進を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ エリアメールの内容に、今回被災した地域名が記載されておらず、危機感が伝わってこなかった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川の水位状況に関する情報をもっときめ細かく発信すべきではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風雨の騒音により、消防車両等による伝達内容が伝わりにくかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 消防車両による伝達については、速度を落として、確実かつきめ細かい広報を行う。(実施済)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと危機感のある内容で情報発信することで、早期の避難につながるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 避難情報等の発信を行う際は、必要に応じ、より危機感や切迫性が伝わるよう、伝達内容を工夫する。(実施済)

項目	課題	課題解決の方向性
イ 伝達手段	<ul style="list-style-type: none"> 防災ラジオは、現在、地域の自主防災組織代表者や民生児童委員に配布しているが、今後は、対象者を拡充すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報弱者に対する情報伝達手段として、防災ラジオの貸与対象者の拡大に取り組む必要がある。(実施済)
	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線は、東日本大震災を契機に沿岸部に増設されたが、ハザードマップの浸水範囲内には整備されていない。水害が起きそうなどころには、防災行政無線の整備を検討していく必要があるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線については、1基あたりの設置費用が高額であり、仮に浸水範囲内の地区の全世帯に聞こえるようにするには、多くの場所に設置する必要があるなど、莫大な費用や時間がかかることから、設置については、浸水地域内の公民館や避難所等を中心に検討するとともに、消防団詰所に設置している消防サイレンを有効に活用することとし、避難訓練等を通して、住民にサイレンの吹鳴の意味を周知する。(一部実施済)
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や携帯電話を持たない情報弱者にも確実に災害情報を伝える方策を考えるべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> F Mいわきの割り込み放送を実施する。(実施済) 固定電話を活用した一斉電話サービスについて、他市の導入事例を調査・研究する。 携帯電話は市民の身近なツールであり、屋内外にかかわらず、どこでも情報入手が容易であることから、多くの市民に対し、防災メールの登録促進を図る。(実施済)

【消防サイレン（水防信号）】

信号の種類	信号の内容（ ）は市の運用です	サイレン信号（秒数は目安）
第1信号	はん濫注意水位に達したことを知らせる。(避難準備・高齢者等避難開始が発令され避難所が開設された時)	5秒 15秒 5秒 15秒 5秒 15秒 ○ - 休止 - ○ - 休止 - ○ - 休止
第2信号	水防団員及び消防機関に属する者の全員が出動すべきことを知らせる。(携帯電話等による周知が困難な場合のみ)	5秒 6秒 5秒 6秒 5秒 6秒 ○ - 休止 - ○ - 休止 - ○ - 休止
第3信号	当該水防管理団体の区域内に居住する者が出動すべきことを知らせる。(携帯電話等による周知が困難な場合のみ)	10秒 5秒 10秒 5秒 10秒 5秒 ○ - 休止 - ○ - 休止 - ○ - 休止
第4信号	必要と認める区域内の居住者に避難のため、立ち退くべきことを知らせる。 (避難勧告、避難指示(緊急)、災害発生情報が発令された時)	1分 5秒 1分 ○ - 休止 - ○

＜河川はん濫における避難勧告等の発令基準＞ ※市水防計画書より抜粋

区 分	発令基準
避難準備・高齢者等避難開始	はん濫注意水位を超え、避難判断水位に到達することが予見される場合
避難勧告	避難判断水位に到達した場合
避難指示 (緊急)	堤防の決壊及び決壊につながるような漏水の発見、又は通報があった場合 避難判断水位を超え、はん濫危険水位に到達することが予見される場合

＜避難情報・気象情報一覧＞

月 日	発生時刻	避難情報	内 容
10月11日	17:54		【お知らせ】台風第19号の接近について
	22:11		強風注意報(発表)、波浪注意報(継続)
10月12日	8:19		暴風警報(発表)、波浪警報(発表)
	10:00	(警戒レベル3) 避難準備・高齢者等避難開始	土砂災害、河川氾濫
	14:09		(警戒レベル3相当)大雨警報(土砂災害)発表
	15:10	(警戒レベル4) 避難勧告	土砂災害
	15:16		(警戒レベル3相当)大雨警報(浸水害)発表、 (警戒レベル3相当)洪水警報発表
	15:20	(警戒レベル4) 避難勧告	新川・好間川・矢田川氾濫おそれ
	15:30		(警戒レベル4相当)土砂災害警戒情報発表
	16:20	(警戒レベル4) 避難勧告	仁井田川(横川流域)、大久川(大久川流域・小久川 流域)氾濫おそれ
	18:10		(警戒レベル4相当)高潮警報(発表)
	19:10	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	新川(平地区)氾濫おそれ
	19:30	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	好間川氾濫おそれ
	19:40	(警戒レベル4) 避難勧告	藤原川(下船尾流域)氾濫おそれ
	19:50		(警戒レベル5相当)大雨特別警報発表
	19:50	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	大久川氾濫おそれ
	20:00	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	鮫川(遠野町滝地区)氾濫おそれ
	20:00	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	宮川氾濫おそれ
	20:00	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	新川氾濫おそれ
	20:30	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	鮫川氾濫おそれ
	20:30	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	夏井川(小川流域)氾濫おそれ
	20:50	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	仁井田川氾濫おそれ
	21:30	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	仁井田川(横川流域)氾濫おそれ
	21:40	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	夏井川(鎌田流域、中神谷流域)氾濫おそれ
	21:50	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	仁井田川(戸田流域)氾濫おそれ
	22:00	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	土砂災害
	22:00	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	藤原川(下船尾流域)氾濫おそれ
	22:30	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	蛭田川氾濫おそれ
	22:50	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	釜戸川氾濫おそれ
	23:10		高柴ダム放水開始:鮫川水系
	23:20	(警戒レベル5) 災害発生情報	新川、夏井川にて氾濫発生
	23:40	(警戒レベル5) 災害発生情報	新川にて氾濫発生
10月13日	0:00	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	林城ポンプ場を起点とする浸水発生
	0:00	(警戒レベル5) 災害発生情報	新川にて氾濫発生
	0:00	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	島ポンプ場を起点とする浸水発生
	0:30	(警戒レベル5) 災害発生情報	夏井川にて氾濫のおそれ
	0:50	(警戒レベル4) 避難指示(緊急)	林城ポンプ場を起点とする浸水発生
	4:00		大雨特別警報(解除)、大雨警報(浸水害)(解除)、 高潮警報(解除)
	8:08		暴風警報(解除)
	14:20		土砂災害警戒情報(解除)
	14:57		大雨警報(土砂災害)(解除)
	16:00		市内に発令していた避難勧告及び避難指示(緊急)を 解除(河川)
	22:16		波浪警報(解除)
10月14日	14:05		洪水警報(解除)
	14:05		市内に発令していた避難指示(緊急)を解除(土砂)

<二級河川における避難情報一覧>

※○は水位は到達したが勧告発令なし、●は避難情報発令、▲は水位到達せず発令、()は水位超過時刻

発令基準(いわき市)					避難情報⇒	①避難準備	②避難勧告	③避難指示
河川数	観測点	河川名	量水標の名称	量水標の位置	周知水位⇒	はん蓋注意水位	避難判断水位	はん蓋危険水位
1	1	大久川	大久雨量水位	大久町大久字滝尻	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	● 16:20(19:10)	● 19:50
2	2	仁井田川	下神谷水位	平下神谷字亀下	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	○ — (22:30)	▲ 20:50(—)
	3		須賀橋水位	四倉町細谷字堀込	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	● 16:20(21:00)	● 21:30
	4		戸田水位	四倉町戸田字北高柳	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	○ — (21:00)	● 21:50
	5		小川水位	小川町上小川字彦太郎5-6	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	○ — (19:20)	● 20:30
3	6	夏井川	鎌田水位	平字鎌田17	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	○ — (21:00)	● 21:40
	7		中神谷水位	平中神谷字前河原	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	○ — (22:10)	● 21:40
4	8	好間川	好間水位	好間町上好間字大堰	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	● 15:20(18:10)	● 19:30
5	9	新川	内郷水位	内郷白水町蛭内73-1	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	○ — (18:30)	● 20:00
	10		梅本水位	平字梅本	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	● 15:20(18:40)	● 19:10
6	11	滑津川	上高久水位	平上高久字五反田	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	— —	— —
7	12	矢田川	鹿島水位	小名浜林城字塚前	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	▲ 15:20(—)	— —
8	13	藤原川	下船尾水位	常磐西郷町落合	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	● 19:40(19:50)	● 22:00
	14		南富岡水位	小名浜南富岡字中前	水位超過有無 発令時刻	▲ 10:00	— —	— —
9	15	釜戸川	田部水位	渡辺町田部字六反田	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	— —	▲ 22:50(—)
10	16	鮫川	松原水位	仁井田町松原	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	○ — (19:40)	● 20:30
11	17	蛭田川	窪田水位	勿来町窪田十条	水位超過有無 発令時刻	● 10:00	— —	▲ 22:30(—)

避難指示をした河川 9河川、14箇所 (全11河川、17箇所中) (③避難指示「水位超過有無」●▲の河川)

避難勧告を発令した河川 6河川、6箇所 (②避難勧告「水位超過有無」●▲の河川)

避難判断水位に達し、避難勧告を発令した河川 5河川、5箇所 (②避難勧告「水位超過有無」●の河川)

避難勧告を出さずに避難指示とした河川 6河川、9箇所 (②避難勧告「水位超過有無」○—、③避難指示「水位超過有無」●▲の河川)

避難勧告を発令し、避難指示を発令した河川 5河川、5箇所 (②避難勧告「水位超過有無」●、③避難指示「水位超過有無」●の河川)

その他

その他	鮫川	現場状況(遠野町滝字川原地区)により判断	水位設定なし	—	—	—
			発令時刻	10:00	—	20:00
その他	宮川	現場状況(宮川沿線)により判断	水位設定なし	—	—	—
			発令時刻	10:00	—	20:00

<台風第19号時のエリアメール文>

件 名	配信日時	本 文
(警戒レベル3) 【避難準備・高齢者等避難開始発令】	10/12 10:01	いわき市からお知らせします。台風19号の接近により、10月12日10時00分、いわき市全域に、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)を発令しました。高齢者等避難に時間のかかる方は、テレビのデータ放送・いわき市ホームページ等で開設されている避難所を確認し、早めに避難を開始してください。なお、避難の際は、必要に応じ常用薬や1日分の食料(アレルギー食を含む)を各自準備願います。
(警戒レベル4) 【避難勧告発令】	10/12 15:21	いわき市からお知らせします。新川・好間川・矢田川が今夜中に氾濫のおそれのある水位に到達することが予想されるため、15時20分に、警戒レベル4:避難勧告を発令しました。対象河川沿線にお住まいの方は、避難所など安全な場所に避難してください。
(警戒レベル4) 【避難指示(緊急)発令:夏井川】	10/12 21:42	いわき市からお知らせします。夏井川(鎌田流域・中神谷流域)において氾濫危険水位に到達するおそれがあることから10月12日21時40分、警戒レベル4:避難指示(緊急)を発令しました。沿線にお住まいの方は、避難所など安全な場所に避難してください。すでに冠水しているなど危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。なお、避難される方は、必要な水や軽食などをご用意願います。
(警戒レベル5) 【災害発生情報発令(新川ほか)】	10/12 23:28	いわき市からお知らせします。新川(内郷内町字蛭内、内郷御厩町字川向、谷川瀬一丁目、平字三崎、字愛谷町三丁目)、夏井川(小川町高萩地内)において河川氾濫が発生したことから10月12日23時20分、警戒レベル5:災害発生情報を発令しました。付近にお住まいの方は周囲の状況を確認し、避難所など安全な場所に避難するか、建物の2階以上などなるべく高いところへ避難願います。

<エリアメール改善例>

<p>避難勧告発令：夏井川1/2</p> <p>いわき市（警戒レベル4）</p> <p>〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分、避難勧告発令</p> <p>夏井川の水位が急激に上昇し、氾濫の恐れのある水位に到達したため、避難対象地区の方は安全な親戚や知人宅、避難所又は安全な高い所へ速やかに全員避難して下さい</p> <p>【対象区間】</p> <p>右岸：小川町塩田 ～ 小川町下小川</p> <p>左岸：小川町上小川 ～ 小川町西小川</p> <p>【対象地区】 別途メール参照</p> <p>【開設避難所】 市HP、TVデータ放送等で確認下さい</p>	<p>避難勧告発令：夏井川2/2</p> <p>いわき市（警戒レベル4）</p> <p>〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分、避難勧告発令</p> <p>※発令本文は（夏井川1/2）参照</p> <p>【対象地区】</p> <p>（小川）下小川、関場、上平、柴原、上小川、塩田、高萩、三島、西小川</p>
---	---

<消防署避難広報・救助活動状況>

日付	時間	赤井地区	平幕ノ内地区	平窪地区	遠野地区	内郷地区	好間地区	小川地区
10/12	12							
	13							広報車両 1 台 消防職員 1 人
	14							
	15			広報車両 2 台 消防職員 6 人				
	16				広報車両 延べ 4 台 消防職員 延べ 12 人	広報車両 延べ 4 台 消防職員 延べ 12 人		
	17	広報車両 延べ 3 台 消防職員 延べ 8 人	広報車両 1 台 消防職員 2 人	広報車両 延べ 4 台 消防職員 延べ 12 人				広報車両 1 台 消防職員 3 人
	18							
	19				<救助活動> 消防車両 1 台 消防職員 3 人			
	20							
	21							広報車両 1 台 消防職員 3 人
	22							
10/13	23						<救助活動>	<救助活動>
	24						消防車両 延べ 25 台 消防職員 延べ 91 人	消防車両 延べ 7 台 消防職員 延べ 27 人
	1					<救助活動> 消防車両 3 台 消防職員 9 人		
	2							
	3							
	4		<救助活動> 消防車両 延べ 15 台 消防職員 延べ 52 人	<救助活動> 消防車両 延べ 32 台 消防職員 延べ 120 人	<救助活動> 消防車両 3 台 消防職員 10 人			
	5							
	6							
	7							
	8	<救助活動> 消防車両 延べ 8 台 消防職員 延べ 29 人						
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							

<消防団活動状況>

地区名	赤井地区	平幕ノ内地区	平窪地区	遠野地区	内郷地区	好間地区	小川地区	
支団	1	1	1	4	5	5	6	
分団	3	4	4	4	1.2.3分団	4.5分団	7.8分団	
班	1～4	1～2	3～5	全7班	全18班	全11班	全16班	
10/12	10	広報(マイク) 4台20人 巡回警戒 4台20人 応援36人	広報(マイク) 2台11名	広報(マイク) 3台24人 巡回警戒 1台6人 排水 1台6人 応援10人	広報(マイク) 延べ11台77人 (警鐘) 延べ10台63人 巡回警戒 延べ30台218人 土壌 延べ7台54人 救助 延べ4台39人 避難誘導 2台16人	広報(マイク) 延べ36台185人 巡回警戒 延べ15台81人	広報(マイク) 延べ9台60人 巡回警戒 延べ20台128人 避難所運営 延べ2台6人	広報(マイク) 延べ45台377人 巡回警戒 延べ17台142人
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
	21							
10/13	22							
	23							
	24							
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
	9							
10/14	10	搜索活動 1台2人	搜索活動 1台4人	搜索活動 1台6人				
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
	21							

アンケート結果

◆ 情報の入手状況

「雨が降り出す前の台風第19号に関する情報の入手源」及び「気象警報の入手源」の8割以上、また、避難情報の入手源の6割以上がテレビによるものであり、そのほかにも様々な媒体を通じて情報を入手していた。テレビに次いで高いのは、「エリアメール」となっている。

・ 雨が降り出す前の台風第19号に関する情報の入手源

項目	割合
テレビ	89.8%
ラジオ（自治体が貸与する防災ラジオは含まない）	11.9%
新聞	10.6%
スマートフォンのアプリ	26.8%
市町村が発信する防災メール（エリアメール）	38.0%
市町村が発信する防災メール（登録メール）	9.5%
戸別受信機（自治体が貸与する防災ラジオを含む）	0.1%
防災行政無線（屋外スピーカー）	0.9%
家族・友人・知人等	22.4%
消防団・自主防災組織・民生委員等	5.1%
インターネット	20.0%
SNS（Twitter, facebook, LINEなど）	6.6%
その他	0.7%
情報は入手していなかった	0.3%
覚えていない・分からない	0.2%
無回答	1.2%

・ 雨が降り出してから気象警報の入手源

項目	割合
テレビ	83.8%
ラジオ（自治体が貸与する防災ラジオは含まない）	11.6%
新聞	6.1%
スマートフォンのアプリ	29.6%
市町村が発信する防災メール（エリアメール）	50.8%
市町村が発信する防災メール（登録メール）	11.6%
戸別受信機（自治体が貸与する防災ラジオを含む）	0.0%
防災行政無線（屋外スピーカー）	1.4%
家族・友人・知人等	15.7%
消防団・自主防災組織・民生委員等	5.6%
インターネット	16.4%
SNS（Twitter, facebook, LINEなど）	4.5%
その他	0.8%
覚えていない・分からない	0.0%
無回答	4.7%

・避難情報の入手源

項目	割合
テレビ	64.5%
ラジオ（自治体が貸与する防災ラジオは含まない）	9.0%
新聞	2.3%
スマートフォンのアプリ	24.4%
市町村が発信する防災メール（エリアメール）	55.1%
市町村が発信する防災メール（登録メール）	11.8%
戸別受信機（自治体が貸与する防災ラジオを含む）	0.0%
防災行政無線（屋外スピーカー）	2.4%
家族・友人・知人等	14.6%
消防団・自主防災組織・民生委員等	11.1%
インターネット	11.4%
SNS（Twitter, facebook, LINEなど）	3.2%
その他	1.0%
覚えていない・分からない	0.2%
無回答	8.9%

2 避難所開設・運営のあり方について

検証項目

- ア 避難所開設
- イ 避難所運営

対応状況

ア 避難所開設

市民の安全性を考慮し、常設避難所 45 箇所のうち、浸水想定区域内の避難所などを除いた 36 箇所を 10 月 12 日午前 10 時に開設した。その後、状況に応じて順次増設し、計 60 箇所を開設したが、一部の避難所では、避難者が集中したことにより（13 日午前 1 時時点で最大 3,018 世帯、6,968 人）、13 箇所では受け入れを停止する状況となった。避難した住民からは、「駐車場が一杯で入れなかった」、「避難所を増設してほしい」、「浸水地区においても自宅から行ける避難所を開設してほしい」、「避難所の受け入れ状況を情報発信してほしい」などの声があった。

イ 避難所運営

他自治体の応援職員も含め、多くの職員が避難所業務に従事し、食事や入浴機会の提供、暖房や感染症対策等、避難者の生活支援を図りながら、令和 2 年 1 月 26 日まで運営を行った。避難した住民からは、「トイレを洋式化してほしい」、「避難所の設備を充実してほしい」などの声があった。

【課題及び課題解決の方向性】

項目	課 題	課題解決の方向性
ア 避難所開設	<ul style="list-style-type: none"> 一部の避難所に避難者が集中し、受け入れが困難となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 避難所の収容人数や駐車台数等の基本情報は、平時から市のホームページ等で情報を提供し、自分で避難所を選択できるようにする。(実施済) ▶ 災害時における避難所の受け入れ状況について、市ホームページや市防災メール等を通して、市民に周知し、避難所の分散化を図る。 ▶ 分散避難を促進させるため、初期段階から避難所の開設数を増やすとともに、地域所有の集会施設等についても活用を図る。(一部実施済)
	<ul style="list-style-type: none"> 浸水想定区域内の住民については、自宅から離れた場所の避難所に行く必要があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 避難所は、地域の特性にあわせて開設すべきであり、浸水地域においては、河川洪水ハザードマップの改訂等を踏まえ、早期避難が必要となることを周知しつつ、高台にある公共施設や民間施設、地域外の施設利用等も含めて検討を行う。また、浸水地域において、校舎等の活用により垂直避難等が可能となる施設については、区域内においても避難場所として位置付ける。なお、体育館が避難所となっている場合において、必要に応じて体育館だけでなく、洋式トイレや保健室のある校舎を利用する。(一部実施済)
	<ul style="list-style-type: none"> 水害の場合、垂直避難の必要性があることから、必要に応じて体育館だけでなく、洋式トイレや保健室のある校舎の利用も検討すべきではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所について非公表としたことから、避難所への避難をためらうケースが見受けられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 開設する福祉避難所を事前に公表する。
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染が増加している状況下において、感染症対策を講じた開設のあり方について検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 避難所の開設・運営にあたり、手指消毒液等の衛生用品の設置をはじめ、スペースの確保、パーティションの設置、避難所内の換気など、3密を防止するための新型コロナウイルス感染症対策を講じる。(実施済) ▶ 避難所の開設数を増やす。(実施済)

項目	課 題	課題解決の方向性
イ 避難所運営	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時には、既存トイレの機能が喪失する恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所のトイレは、災害用トイレの有効活用や仮設トイレの設置、さらにはトイレトレーラーなどの移動設置型トイレの導入に取り組むほか、洋式トイレの整備に取り組む必要がある。（一部実施済）
	<ul style="list-style-type: none"> 一部の避難所においては、トイレの電気がつかない、雨漏りがする、冷暖房設備・スロープ・階段手すりがないなど、設備面で不具合等があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所の設備面のチェックを行うとともに、可能な限り、高齢者などの要配慮者に配慮した施設の計画的な環境整備を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 避難所業務の経験のない職員が多く、職員間のスキルの継承が行われていないのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営にあたる職員を増員するとともに、職員の資質向上を図るため、平時から研修会や市防災訓練等の機会を通して養成し、災害時には、避難所業務に配置する体制とする。
	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営に必要となる、車の誘導、福祉スペースや簡易式トイレの設置、本部との連絡、健康や栄養管理、ペット連れなどの対応ができる職員を配置する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市では、自主防災組織、消防団等を対象に、防災士養成講座を開催しているが、防災士養成のさらなる充実・強化を図るため、市職員をはじめとして、受講対象者を拡大すべきである。 避難所運営に関わった職員・ボランティア団体等の意見を踏まえて、避難所運営マニュアル等の見直しを行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に避難所内でセクハラの被害に遭うケースが報告されていることから、何らかの対策を検討しておくべきではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営委員会に積極的に女性に参画してもらうとともに、職員が避難所内の巡視を行い、治安維持に努める必要がある。

項目	課題	課題解決の方向性
イ 避難所運営	<ul style="list-style-type: none"> 市民の中には、避難所にペット連れで避難ができないと考えている方もいることから、周知、啓発を行うとともに、ペット連れでも気兼ねなく避難できる環境整備を行う必要がある。 	<p>▶ 動物が苦手(感染症等への不安)な避難者に十分配慮しながら、可能な範囲で建屋内にケージに入れたペット動物を飼育管理できる場所を確保するよう努める。また、飼い主には、ペット用の備蓄品の確保や平時からペットにケージ等へ入れることを慣らしておくことなど、災害への備えを呼びかけるとともに、災害時にはペット連れでも避難所での受け入れが可能であることを積極的に市民に周知する。</p>

アンケート結果

◆ 避難先

自宅が被災する前の避難状況は、「避難した」人が50.2%となっている。最終的に避難した先は、「自宅やマンションなどの上階」が最も高く32.2%、次いで「親戚・知人宅」が31.3%、「避難場所」が12.2%、「避難所」が5.8%となっている。

項目	割合
避難した	50.2%
避難しなかった	48.6%
無回答	1.2%

項目	割合
避難場所	12.2%
避難所	5.8%
親戚・知人宅	31.3%
その他の建物	4.6%
自宅やマンションなどの上階	32.2%
その他	8.6%
無回答	5.3%

◆ 避難開始時間

風雨が強くなる前の12日15時頃までの早い段階で避難を開始した人は22.0%、避難勧告が発令された後の16時頃から19時頃までに避難を開始した人は24.3%、避難指示が発令された後の20時頃から22時頃までに避難を開始した人は25.2%、河川氾濫が発生する前後の23時頃から13日1時頃までに避難を開始した人は11.9%となっている。

項目		割合	項目		割合
10月12日	14時頃まで	18.1%	10月13日	0時頃	3.4%
	15時頃	3.9%		1時頃	4.1%
	16時頃	4.3%		2時頃	3.0%
	17時頃	5.1%		3時以降	2.8%
	18時頃	6.4%	避難したが時間不明		1.0%
	19時頃	8.5%	覚えていない・分からない		7.1%
	20時頃	9.7%	無回答		2.9%
	21時頃	9.1%			
	22時頃	6.4%			
	23時頃	4.4%			

◆ 避難した理由

「雨の降り方が激しく身の危険を感じたから」(44.0%)、「自宅の近くなどで急に水が上がってきたから」(45.7%)、「河川の水位が上がっているのを見たから」(25.9%)が避難開始の理由として高い。一方、「大雨特別警報が発表されたから」(13.5%)などの気象警報、「避難指示(緊急)が発令されたから」(15.6%)などの避難情報は1割程度、「同居の家族に避難しようと言われたから」(14.5%)など人からの呼びかけも1割台と、雨や水位の状況に比べて避難の理由に挙げた人は少ない。

項目	割合
雨の降り方が激しく身の危険を感じたから	44.0%
河川の水位が上がっているのを見たから	25.9%
自宅の近くなどで急に水が上がってきたから	45.7%
同居の家族に避難しようと言われたから	14.5%
別居の家族に避難を勧められたから	16.4%
近所の人や消防団員などに避難を勧められたから	11.5%
テレビやインターネットなどで雨量や河川の水位などの情報を得たから	25.6%
近所の人が避難を始めたから	10.0%
避難準備・高齢者等避難開始が発令されたから	9.9%
避難勧告が発令されたから	13.4%
避難指示(緊急)が発令されたから	15.6%
大雨警報が発表されたから	12.0%
洪水警報が発表されたから	12.3%
大雨特別警報が発表されたから	13.5%
その他	12.7%
無回答	0.8%

避難にも「自宅を立ち退いて避難した場合」と、「自宅やマンションなどの上階に避難した場合」の2通りがある。このうち後者の、「《垂直避難》を選択した理由をみると、「上階への避難で安全を確保できると考えていたため」(62.6%)、「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」(43.8%)となっている。

自宅以外へ避難しなかった理由をみると、「夜だったから」(43.8%)及び「自宅以外へ避難することを考えた時は、既に危険な状態になっていたから」(43.8%)が高いことから、〈水平避難〉するには雨の状況や時間帯から危険な状況になっており、自宅において〈垂直避難〉が実施されたこともうかがえる。

項目	割合
上階への避難で安全を確保できると考えていたため	62.6%
自宅が被害に遭うとは思わなかったから	43.8%
雨の降り方や川の水位からみて、自宅は安全だと判断したから	16.8%
テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から、外に避難するより自宅の方が安全と判断したから	20.0%
近所の人は誰も自宅の外へ避難していなかったから	11.3%
夜だったから	43.8%
誰からも自宅以外へ避難することを勧められなかったから	5.7%
テレビなどで自宅の上階への避難で身の安全を確保することが伝えられていたから	19.3%
自宅以外へ避難する方がかえって危険だと思ったから	41.0%
自宅以外へ避難することを考えた時は、既に危険な状態になっていたから	43.8%
避難場所での滞在が不安だったから	6.8%
ペットを飼っていたから	12.2%
過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから	20.9%
避難勧告や避難指示（緊急）が発令されたことを知らなかったから	1.8%
大雨警報や大雨特別警報が発表されたことを知らなかったから	0.5%
自宅以外へ避難することは考えなかった	20.2%
その他	11.3%
無回答	4.3%

◆ 誰と避難したか

「家族など同居者」が73.4%と最も高く、次いで「1人で避難した」が17.3%となっている。

項目	割合
1人で避難した	17.3%
家族など同居者	73.4%
近隣住民	4.6%
その他	7.0%
無回答	0.7%

◆ 避難しなかった理由

「自宅が被害に遭うとは思わなかったから」が67.4%と最も高く、次いで「夜だったから」が32.6%、「いざとなれば2階などに逃げればよいと思ったから」が32.1%となっている。

項目	割合
自宅が被害に遭うとは思わなかったから	67.4%
雨の降り方や川の水位からみて自宅は安全だと判断したから	25.2%
テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から安全だと判断したから	8.7%
近所の人は誰も避難していなかったから	22.5%
夜だったから	32.6%
いざとなれば2階などに逃げればよいと思ったから（2階などには逃げなかった）	32.1%
誰からも避難を勧められなかったから	9.0%
避難する方がかえって危険だと思ったから	24.6%
避難を考えた時は、既に危険な状態になっていたから	28.5%
避難場所での滞在が不安だったから	6.8%
ペットを飼っていたから	10.6%
過去に経験した水害の範囲に収まると思ったから	26.2%
避難勧告や避難指示（緊急）が発令されたことを知らなかったから	4.6%
大雨警報や大雨特別警報が発表されたことを知らなかったから	2.0%
避難することは考えなかった	18.6%
その他	12.8%
無回答	2.0%

◆ 「避難しなかった理由」に関して、周囲からの避難の呼びかけはなかったか

「避難の呼びかけは特になかった」が56.9%と最も高く、次いで「役場職員や消防団員等から避難の呼びかけがあった」が11.9%となっている。

項目	割合
同居している家族・親戚から避難の呼びかけがあった	4.7%
別居している家族・親戚から避難の呼びかけがあった	11.5%
近所の人や友人・知人から避難の呼びかけがあった	10.7%
役場職員や消防団員等から避難の呼びかけがあった	11.9%
避難の呼びかけは特になかった	56.9%
その他	7.5%
無回答	5.4%

◆ 「避難しなかった理由」に関して、どのようなきっかけがあれば避難したか

「もっと危機感のある避難情報の提供」が51.8%と最も高く、次いで「役場職員や消防団員等からの呼びかけ」が37.3%、「役所等の広報車の呼びかけ」が36.2%となっている。

項目	割合
もっと危機感のある避難情報の提供	51.8%
役所等の広報車の呼びかけ	36.2%
防災無線の呼びかけ	18.6%
同居家族からの呼びかけ	6.7%
同居以外の家族・親戚からの呼びかけ	7.4%
近所の人や友人・知人からの呼びかけ	18.0%
役場職員や消防団員等からの呼びかけ	37.3%
テレビなどからの切迫感のある呼びかけ	17.4%
その他	12.3%
避難はしない	7.8%
無回答	4.8%

<開設避難所一覧>

＜開設避難所一覧＞						10/12													
No.	地区	避難所名	収容可能 人数	開設日時	閉鎖日時	10：00時点		12：00時点		16：00時点		18：00時点		20：00時点		22：00時点			
						世帯数	避難者数	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数		
1	平	平第一小学校 体育館	430	12日10時	13日18時	0	0	8	21	31	71	98	221	116	263	133	291		
2	平	平第二中学校 体育館	337	12日10時	13日18時	2	2	11	22	38	102	65	154	79	197	127	314		
3	平	赤井中学校 体育館	410	12日10時	13日18時	0	0	1	1	8	13	18	31	28	56	36	81		
4	平	中央台公民館	710	12日10時	12月28日	4	6	11	17	33	65	62	130	78	171	100	233		
5	平	飯野公民館	202	12日10時	13日18時	1	1	5	8	15	23	25	42	30	50	40	70		
6	平	平工業高校 合宿所・体育館	758	12日10時	13日18時	0	0	5	8	12	24	38	100	43	116	88	216		
7	平	藤間中学校 体育館	410	12日10時	13日18時	0	0	1	4	16	43	31	85	36	104	48	143		
8	平	総合体育館	4,182	12日17時	13日18時	-	-	-	-	-	-	18	41	77	150	183	420		
9	平	桜ヶ丘高校 体育館	1,004	12日20時	13日18時	-	-	-	-	-	-	-	0	0	13	35			
10	平	平第一中学校 体育館	502	12日21時	13日18時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55	110		
11	小名浜	玉川中学校 体育館	334	12日10時	13日18時	0	0	4	7	14	24	72	150	89	187	131	300		
12	小名浜	小名浜東小学校 体育館	346	12日10時	13日18時	2	3	13	29	40	77	94	122	101	139	109	157		
13	小名浜	泉北小学校 体育館	368	12日10時	13日18時	2	4	7	13	18	28	32	60	34	66	40	88		
14	小名浜	江名中学校 体育館	339	12日10時	13日18時	0	0	5	8	11	17	20	53	25	64	26	27		
15	小名浜	鹿島小学校 体育館	334	12日10時	13日18時	0	0	2	2	0	0	2	4	3	6	4	8		
16	小名浜	江名小学校 体育館	358	12日15時	13日18時	-	-	-	-	2	4	3	6	5	10	6	11		
17	小名浜	小名浜西小学校 体育館	276	12日15時	13日18時	-	-	-	-	13	27	17	39	24	62	55	158		
18	小名浜	鹿島公民館	203	12日15時	13日18時	-	-	-	-	1	1	10	19	16	26	21	43		
19	小名浜	泉公民館	536	12日16時	13日18時	-	-	-	-	1	1	2	6	6	13	14	30		
20	小名浜	渡辺公民館	176	12日16時	13日18時	-	-	-	-	0	0	0	0	1	4	1	4		
21	小名浜	小名浜公民館	1,324	12日16時	13日18時	-	-	-	-	4	6	6	10	12	18	26	54		
22	勿来	植田小学校 体育館	331	12日10時	13日9時	1	1	5	5	25	48	62	113	70	133	102	212		
23	勿来	汐見が丘小学校 体育館	274	12日16時	13日9時	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
24	勿来	県立磐城農業高等学校 体育館	419	12日12時	13日9時	-	-	0	0	4	8	15	30	16	32	34	93		
25	勿来	南部アリーナ	1,384	12日10時	13日9時	12	22	40	71	92	192	161	371	177	422	239	609		
26	勿来	勿来第一小学校 体育館	378	12日10時	13日9時	0	0	2	3	4	4	12	24	15	31	17	38		
27	勿来	勿来第二中学校 体育館	274	12日10時	13日9時	0	0	1	1	11	18	15	25	17	30	21	45		
28	勿来	植田東中学校 体育館	332	12日16時	13日9時	-	-	-	-	0	0	4	14	4	14	19	59		
29	常磐	湯本第三小学校 体育館	307	12日10時	13日9時	0	0	0	0	1	2	2	5	14	17	14	17		
30	常磐	藤原小学校 体育館	318	12日10時	13日9時	0	0	0	0	2	3	3	5	6	10	8	18		
31	常磐	湯本第三中学校 体育館	410	12日10時	13日9時	0	0	4	7	9	14	12	19	12	19	16	33		
32	常磐	磐崎中学校 体育館	450	12日10時	13日9時	0	0	0	0	7	15	47	71	53	86	74	155		
33	常磐	関船体育館	740	12日10時	13日12時	0	0	5	9	19	42	31	66	35	76	48	110		
34	常磐	湯本第一中学校 体育館	349	13日0時	13日9時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
35	内郷	高坂小学校 体育館	243	12日10時	16日15時	0	0	2	2	16	32	39	80	55	120	73	159		
36	内郷	内郷第一中学校 体育館	434	12日10時	16日15時	0	0	7	11	31	48	55	99	90	207	125	305		
37	内郷	高坂保育所	274	12日15時	13日15時	-	-	-	-	0	0	2	4	3	5	8	18		
38	内郷	内郷コミュニティセンター	1,620	13日12時	1月26日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
39	四倉	県立四倉高等学校 体育館	533	12日10時	13日12時	0	0	15	24	36	65	70	138	76	149	92	190		
40	四倉	大野第一小学校 体育館	222	12日23時	13日12時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
41	遠野	上遠野小学校 体育館	264	12日10時	13日9時	0	0	0	0	0	0	1	1	5	13	14	41		
42	遠野	入遠野公民館	141	12日10時	13日9時	0	0	1	2	4	7	10	25	14	34	17	43		
43	小川	小川小学校 体育館	264	12日10時	12月14日	0	0	0	0	12	21	29	51	36	74	63	114		
44	小川	下小川集会所	43	12日10時	13日18時	0	0	1	2	1	2	3	6	3	6	4	8		
45	小川	江田・牛小川集会所	39	12日10時	13日9時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
46	小川	柴原公民館	31	12日17時	13日9時	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	1	2		
47	小川	高萩公民館	65	16日6時	12月30日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
48	好間	好間中学校 武道館	455	12日10時	12月5日	1	1	7	15	30	55	100	233	134	324	175	421		
49	好間	好間公民館	379	13日15時	12月25日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
50	三和	三和ふれあい館屋内ゲートボール場	317	12日10時	14日12時	0	0	2	3	3	9	11	27	22	49	37	89		
51	田人	田人ふれあい館屋内運動場	317	12日10時	16日19時	2	3	4	7	8	14	12	23	14	29	21	56		
52	田人	おふくろの宿	192	12日10時	13日12時	0	0	0	0	12	19	13	21	16	27	22	40		
53	川前	川前公民館	242	12日10時	13日18時	0	0	0	0	3	3	14	18	14	17	14	17		
54	川前	川前活性化センター	318	12日10時	13日9時	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	3	4		
55	川前	小白井集会所	43	12日17時	13日9時	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0		
56	川前	宇根尻集会所（自主）	40	12日16時	13日9時	-	-	-	-	0	0	4	4	4	4	4	4		
57	久之浜・大久	久之浜第二小学校 体育館	224	12日16時	13日18時	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
58	久之浜・大久	福島県いわき市海浜自然の家体育館	295	12日10時	13日18時	5	6	8	11	18	39	38	80	41	85	53	118		
59	久之浜・大久	久之浜中学校 体育館	290	12日16時	13日18時	-	-	-	-	1	1	7	10	12	24	26	58		
60	久之浜・大久	末続集会所	38	12日16時	13日18時	-	-	-	-	0	0	4	7	5	9	5	9		
合 計			26,828			32	49	177	313	606	1,187	1,391	2,846	1,769	3,752	2,605	5,878		
※一時受入れを停止した避難所：13箇所						開設避難所数→													
						36		37		50		53		54		55			

<開設避難所一覧>

			10/13															
			23:00時点		0:00時点		1:00時点		2:00時点		6:00時点		9:00時点		12:00時点		18:00時点	
No.	地区	避難所名	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数	世帯数	避難者数
1	平	平第一小学校 体育館	136	298	136	298	137	302	136	298	35	80	12	32	12	25	-	-
2	平	平第二中学校 体育館	168	411	184	445	190	459	193	442	113	316	27	55	20	33	-	-
3	平	赤井中学校 体育館	57	149	60	142	60	142	60	142	27	60	30	60	19	46	-	-
4	平	中央台公民館	104	239	108	252	109	254	109	254	36	87	3	4	4	8	36	80
5	平	飯野公民館	43	74	43	74	44	76	44	76	2	4	2	3	3	5	-	-
6	平	平工業高校 合宿所・体育館	94	226	95	229	102	239	90	213	44	110	3	8	3	7	-	-
7	平	藤間中学校 体育館	69	205	79	233	80	234	80	234	0	0	0	0	0	0	-	-
8	平	総合体育館	222	510	243	555	260	585	265	594	37	98	21	48	27	61	-	-
9	平	桜ヶ丘高校 体育館	18	47	23	59	26	71	25	64	18	48	8	23	6	15	-	-
10	平	平第一中学校 体育館	85	180	90	200	95	210	105	225	40	90	27	57	18	50	-	-
11	小名浜	玉川中学校 体育館	133	305	137	316	133	300	70	150	6	10	0	0	0	0	-	-
12	小名浜	小名浜東小学校 体育館	109	157	102	143	100	140	96	131	5	8	0	0	0	0	-	-
13	小名浜	泉北小学校 体育館	42	96	47	112	52	126	52	126	12	32	0	0	0	0	-	-
14	小名浜	江名中学校 体育館	26	67	26	67	26	67	23	50	0	0	0	0	0	0	-	-
15	小名浜	鹿島小学校 体育館	4	8	5	10	5	10	6	11	1	1	0	0	0	0	-	-
16	小名浜	江名小学校 体育館	6	11	6	11	6	11	6	11	0	0	0	0	0	0	-	-
17	小名浜	小名浜西小学校 体育館	58	168	59	172	59	172	21	44	0	0	0	0	0	0	-	-
18	小名浜	鹿島公民館	22	44	22	44	18	37	15	32	1	5	0	0	0	0	-	-
19	小名浜	泉公民館	14	30	16	38	16	37	14	32	4	9	0	0	0	0	-	-
20	小名浜	渡辺公民館	4	9	6	13	7	17	7	17	1	4	0	0	0	0	-	-
21	小名浜	小名浜公民館	29	59	29	59	29	59	28	55	2	2	0	0	0	0	-	-
22	勿来	植田小学校 体育館	102	212	111	234	114	237	114	237	1	1	-	-	-	-	-	-
23	勿来	汐見が丘小学校 体育館	2	7	2	7	2	7	2	7	0	0	-	-	-	-	-	-
24	勿来	県立磐城農業高等学校 体育館	37	100	43	117	46	129	48	133	16	40	-	-	-	-	-	-
25	勿来	南部アリーナ	266	680	273	698	275	702	258	662	109	162	-	-	-	-	-	-
26	勿来	勿来第一小学校 体育館	19	43	22	49	22	47	19	40	0	0	-	-	-	-	-	-
27	勿来	勿来第二中学校 体育館	21	45	23	50	23	45	19	35	0	0	-	-	-	-	-	-
28	勿来	植田東中学校 体育館	28	86	40	112	39	110	39	110	0	0	-	-	-	-	-	-
29	常磐	湯本第三小学校 体育館	14	17	16	19	16	19	3	4	0	0	-	-	-	-	-	-
30	常磐	藤原小学校 体育館	8	18	8	18	8	18	8	18	6	14	-	-	-	-	-	-
31	常磐	湯本第三中学校 体育館	20	42	23	52	22	50	20	47	0	0	-	-	-	-	-	-
32	常磐	磐崎中学校 体育館	79	176	81	182	77	167	69	139	0	0	-	-	-	-	-	-
33	常磐	関船体育館	52	124	61	149	64	157	65	163	11	30	1	2	-	-	-	-
34	常磐	湯本第一中学校 体育館	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
35	内郷	高坂小学校 体育館	77	163	83	176	84	177	84	177	71	151	0	0	0	0	16	42
36	内郷	内郷第一中学校 体育館	126	306	127	307	128	309	112	272	16	48	5	17	5	18	40	104
37	内郷	高坂保育所	8	18	8	18	10	21	10	21	11	23	4	9	3	7	-	-
38	内郷	内郷コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	4	12
39	四倉	県立四倉高等学校 体育館	104	224	104	224	108	230	108	230	10	24	0	0	-	-	-	-
40	四倉	大野第一小学校 体育館	0	0	2	5	2	5	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
41	遠野	上遠野小学校 体育館	15	47	19	55	24	64	23	63	14	41	-	-	-	-	-	-
42	遠野	入遠野公民館	17	43	18	44	18	44	18	44	7	18	-	-	-	-	-	-
43	小川	小川小学校 体育館	-	-	-	-	-	-	78	183	4	11	1	2	0	0	1	4
44	小川	下小川集会所	-	-	-	-	-	-	12	22	4	8	5	10	1	2	-	-
45	小川	江田・牛小川集会所	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
46	小川	柴原公民館	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	-	-	-	-	-	-
47	小川	高萩公民館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	好間	好間中学校 武道館	180	437	180	437	182	441	183	442	179	433	16	30	23	46	19	39
49	好間	好間公民館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	11
50	三和	三和ふれあい館屋内ゲートボール場	42	100	43	102	45	104	41	95	14	31	0	0	0	0	1	3
51	田人	田人ふれあい館屋内運動場	21	56	21	56	19	45	16	35	1	4	4	7	4	7	1	1
52	田人	おふくろの宿	22	40	22	40	20	36	20	36	1	1	1	1	-	-	-	-
53	川前	川前公民館	18	22	19	27	19	27	19	27	0	0	0	0	0	0	-	-
54	川前	川前活性化センター	4	6	4	6	4	6	4	6	1	2	-	-	-	-	-	-
55	川前	小白井集会所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
56	川前	宇根尻集会所(自主)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	-	-	-	-	-	-
57	久之浜・大久	久之浜第二小学校 体育館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
58	久之浜・大久	福島県いわき市自然の家体育館	62	152	65	168	65	168	60	146	12	29	7	17	7	17	-	-
59	久之浜・大久	久之浜中学校 体育館	28	63	29	66	19	42	12	23	0	0	0	0	0	0	-	-
60	久之浜・大久	末続集会所	5	9	5	9	5	9	5	9	0	0	0	0	0	0	-	-
合 計			2,824	6,533	2,972	6,903	3,018	6,968	2,919	6,633	877	2,041	177	385	157	353	124	296
開設避難所数→			56		57		57		57		57		38		35		9	

※ 小川地区の避難所については、小川支所が被災したことから一部の時間帯で集計できず。
(12日23時～13日1時)